

目的

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまちの実現

基本方針① 高齢者が健康で、いきいきとした生活を送ることができる

目指す姿

- ・
- ・
- ・

※視点：健康で自立した生活、生きがいを持ちいきいきとした生活

- 健康づくりの推進(健康かわごえ推進プラン)
- 介護予防・重度化防止の推進
- 生きがいづくりと社会参加の促進

基本方針② 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる

目指す姿

- ・キーパーソンが適切に関わった上で、本人が納得して、不安なく、適切な場所(本人が望む場所、本人が納得した上で状態や状況に応じて選択される場所)に退院することができる。【退院時連携／在宅医療介護連携の推進】
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※視点：地域での支え合い、身近な場所での相談窓口、高齢者の尊厳が守られること、認知症になっても安心して生活できる、在宅で安心して生活できる

- 地区別福祉プランの推進(第四次川越市地域福祉計画)
- 地域での支え合い機能の強化
- 地域包括支援センターの機能強化
- 地域包括支援センター・CSW・地区担当保健師等の連携
- 地域ケア会議の推進
- 権利擁護体制の充実
- 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- 認知症サポート体制の充実
- 在宅医療・介護連携の推進(第三次川越市保健医療計画)
- 多様な住まい方の支援

基本方針③ 自立した日常生活を支える介護保険サービスの充実

目指す姿

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※視点：介護保険制度の円滑な運営、安心して介護サービスを使うことができる

- 介護給付適正化の取組(介護給付適正化計画)
- 情報提供体制の充実
- 介護サービス基盤の推進
- 介護サービスの質の向上
- 低所得者に対する利用者負担の軽減